



笑顔でスタート！（大石田南小学校入学式）



おおいしだ

議会だより

No. **160**

2019.4.25

山形県大石田町ホームページ
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



携帯・スマホから
アクセス！

◆ 第1回定例会
(3月5日～15日)

◇ 第1回臨時会
(1月21日)

◇ 第2回臨時会
(3月20日)

新戦力！新年度に期待 2

平成31年度予算可決 4

活力ある町づくりへ「町の考えを問う」一般質問7人 10

「新教育長就任」「議会報告会」 18

職人の町の「名匠」 20

発行 山形県大石田町議会

新年度に期待する

厳しい寒さの後に春の訪れ
見事に咲き誇る梅の花のような

「令和」にむけて

防災機能さらに充実へ！新戦力！

この度、県内初となる放水塔付消防ポンプ車が尾花沢市消防本部に導入されました。

新型ポンプ車は地上13・7mのバケット付放水塔を装備しており、高所での救助作業を容易に行うことが可能になります。

今年度は、大石田分署の建築もあり、町の防災機能は大幅向上となりそうです。

【記 消防委員長】

県内初！新型消防ポンプ車配備



大野 達也さん
(神奈川県出身)
昭和61年7月31日生
経歴／金属加工営業
お笑い芸人

大野あかねさん
(山形市出身)
平成元年9月21日生
経歴／美容師
ヘアメイクアップ
アーティスト

がんばります!!

どうして地域おこし協力隊に？

・移住を考えた時に一番魅力的な仕事と思ひ、誰かの役に立ちたいと思いました。

どうして大石田町に？

・一番雰囲気がよく、「遠いところからわざわざ来てくれてありがたい」の一言が決め手でした。

大石田町のイメージは？

・空が広く自然豊か。雪がすごいけど、人の心が温かいところです。

意気込みは？

大野達也さん

人見知りしません。話すことが得意です。町内外を問わず多くの方と関わり大石田町のPRをしたいです。

大野あかねさん

もうすぐ二人目が生まれます。子育てしながら大石田町の皆様と、更に町を盛り上げていけるよう精一杯頑張ります。



長女の映栄(えま)ちゃんと一緒に!



先輩!よろしくお願いします!

香坂さん・遠藤さんから

アドバイス
言葉・職場・生活の慣れは必要かもしれませんが、お子さんを通してのつながりは、強みになるので、いろいろな交流の輪を広げてほしい。

今年度の抱負

3年という期限付きの業務は充実するほど短く感じます。最終年度なので、悔いの残らないよう頑張ります!



大石田町のPRは任せたい!

新しい二人を迎えて

31年度
予算

総額約69億 6千万円



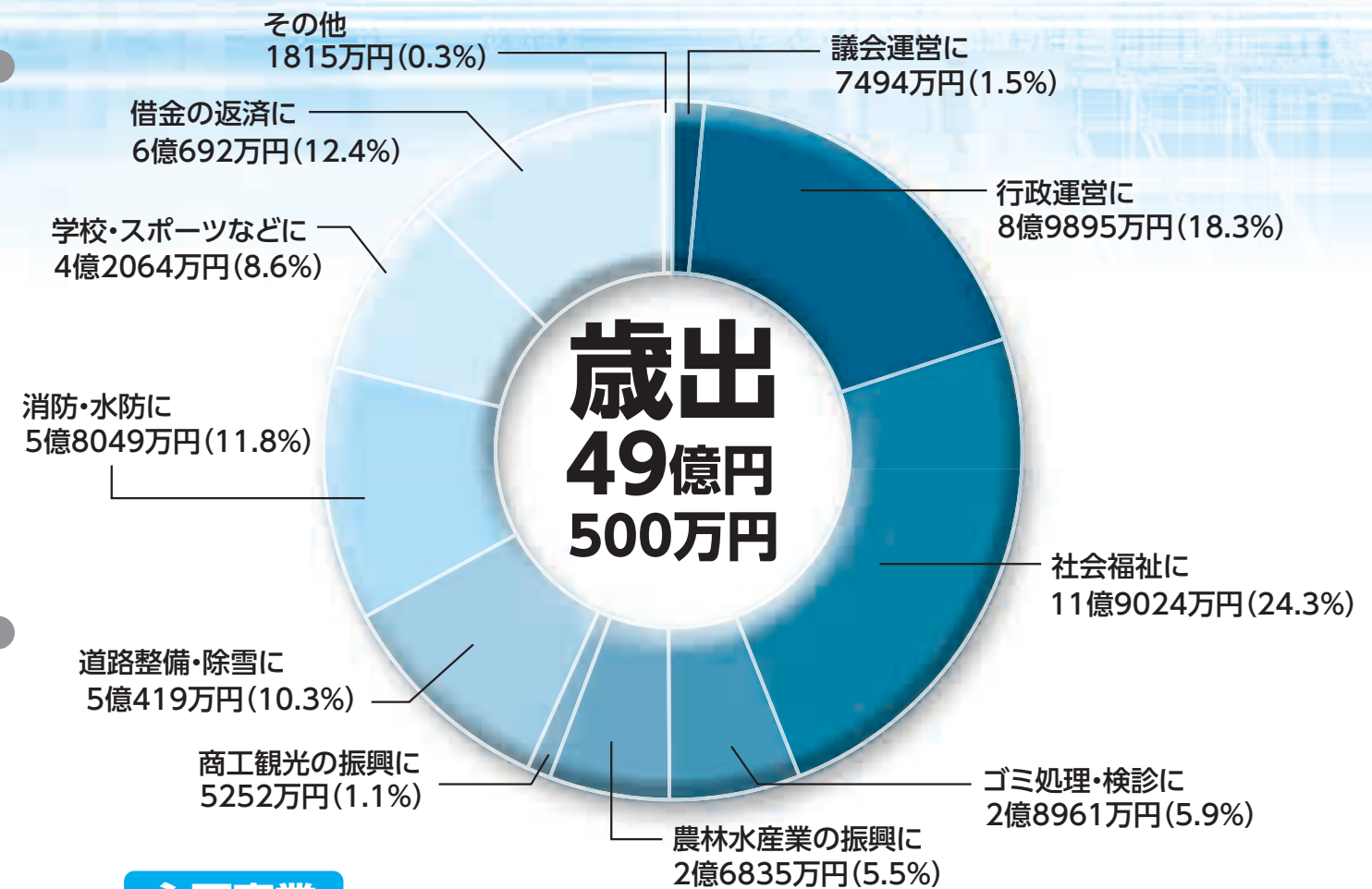
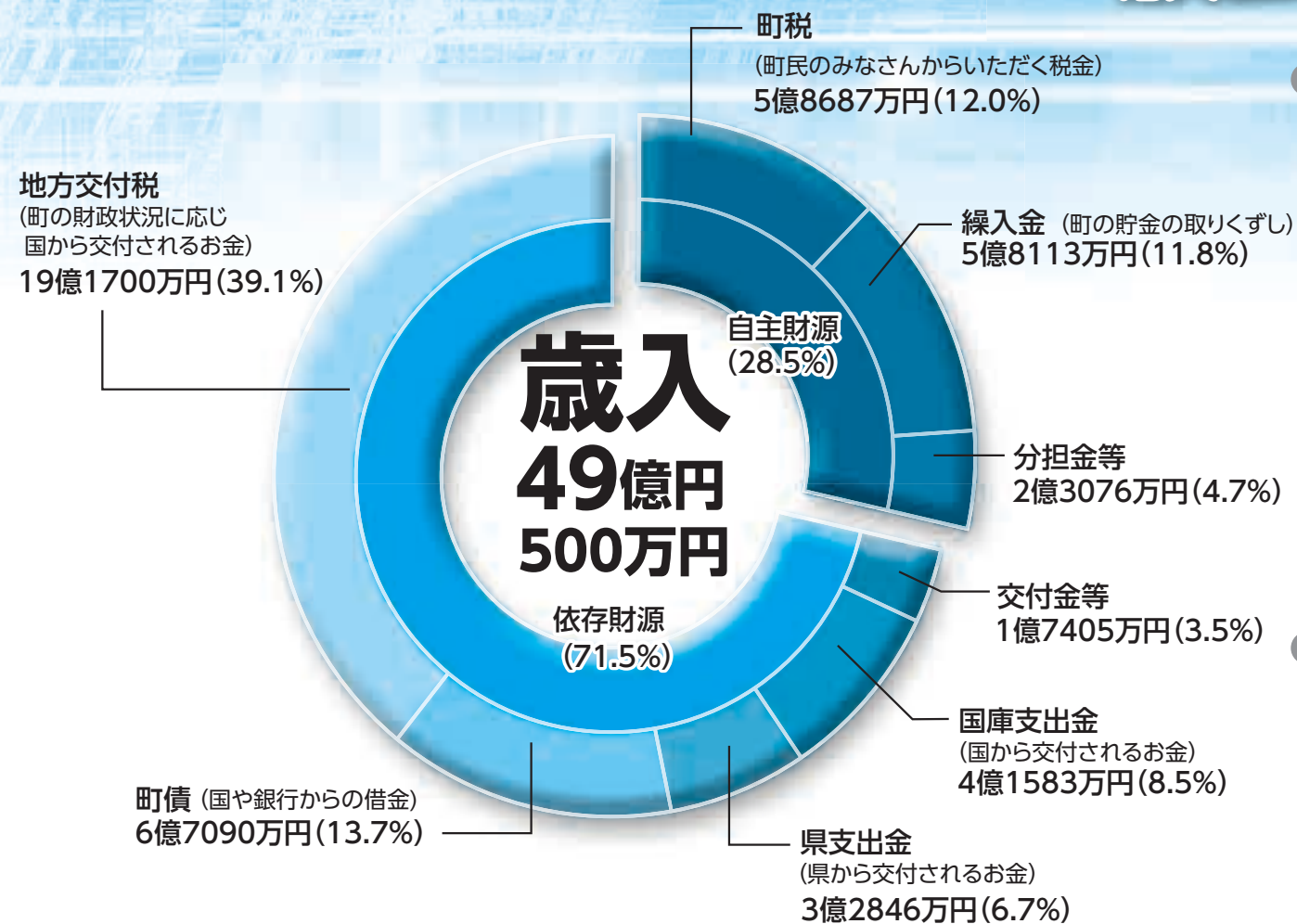
3月定例会は、3月5日から3月15日まで11日間の会期で開かれ、7議員による一般質問、補正予算や新年度予算などについて審議を行いました。

新年度予算は予算特別委員会を設置し詳細にわたり審査を実施。その結果、全議案について可決しました。

一般会計予算

約49億円

一般会計内訳



主要事業

- ふるさと応援基金へ……………1億5991万円
- 子育て支援医療給付として……………2669万円
- 地域おこし協力隊に……………1288万円
- 環境保全型農業直接支払交付金として……………1531万円
- 報酬削減効果として……………356万円
- 道道路ストック総点検に……………6035万円
- (中学生までのインフルエンザ予防接種費用など)
- 大石田分署改築へ……………3億6773万円
- 知的障がい者自立支援給付として……………9139万円
- 部活動指導員設置として……………34万円
- プレミアム付商品券発行へ……………373万円
- (部活動指導員の配置に関する費用)

平成31年度各会計当初予算

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	次子簡易水道	学校給食事業	農業集落排水事業	介護保険	後期高齢者医療
予算額	49億500万円	20億6,120万円	8億4,550万円	700万円	9,090万円	1億710万円	9億2,070万円	9,000万円
前年度比	1億2,500万円	△1,004万円	△2,931万円	160万円	990万円	840万円	△360万円	297万円

一般会計予算 【全員賛成】

岡崎英和 委員

除 雪機購入費が予算にあるが、過去の入札結果から格差が大きい。予算計上の見直しは、町長 通常見積価格で計上しているが、実態をみて今後検討したい。

中 学校の雪下ろし費は恒常的に予備費で対応しているが、当初予算化の考えは、町長 公共施設の雪下ろしは危機管理の判断で行っているが、実態を踏まえて予算化したい。

小玉 勇 委員

非 正規職員の待遇改善のため、例規集整備とは、町長 臨時職員の募集に苦慮していることもあり、待遇改善して良い人材確保にあたりたい。

大山二郎 委員

栄 町の流雪溝がゲリラ豪雨であふれる時がある。洪水対策は、町長 現状では、農協倉庫裏の排水溝合流部分の水量調節で防げているが、今後詳細な調査をみて改善を検討したい。

関 幸悦 委員

大 石田駅のトイレは、全部洋式に改修すべきでは、町長 海外からのお客様も増えている。洋式トイレ改修については、今後検討する。

大山二郎 委員

小 子化が一層進む中で、の学校統合は白紙なのか。教育長 南小と北小が複式となるが、小さくともよい教育は可能だ。統合ありきではない。

遠藤宏司 委員

学 校施設の老朽化対策は調査のみではなく、随時すべき。教育長 この事業は計画策定のみで、調査を受けての施設管理を決定していくことになる。

人 権フェスデバルが開催されるが、人権被害やいじめ防止策など実りある事業にすべきでは、町長 人権擁護委員とも相談し、講師を招き啓蒙していく。

齋藤公一 委員

移 住定住人材確保推進事業委託料で、東京でイベント開催とあるが具体的には、まちづくり推進課長 アスリートによる農業者の移住定住推進を考えている。実業団での活躍の後、就職がなく困っている人が多いと聞く。



東京で大石田町を強くアピール!!

平成最後の予算審議!



村形 昌一 委員長

予算特別委員会において新年度予算の審査を行い、一般会計及び各特別会計とも原案のとおり可決すべきものであると村岡議長に対して報告しました。

芳賀 清 委員

地 域おこし協力隊の任期が今年1年となったが、町長 お二人には、これからの考え方なども聞いて、残っていただけのように応援したい。

現 新協力隊員との連携は、まちづくり推進課長 今年1年業務引継ぎの中で、いい面を引き出しあいながら移住定住に取り組んでもらう。

星川 久 委員

問 題のある空き家が、増えている。現状と今後の対策は、まちづくり推進課長 良好な空き家は空き家バンクに登録して活用している。危険空き家は、審議会の意見を取りまとめている。取り壊し費用など国の補助制度など見極めながら対応したい。

芳賀 清 委員

各 施設の機能最適化の診断をするとあるが、どのような調査か。産業振興課長 各処理場の下水管路など含めて、現状を把握するための機能診断です。

遠藤宏司 委員

基 金残高は1億8500万円になる。被保険者一人あたり1万円程度引き下げできるのでは、町長 国保の安定運営のため、基金は2億円必要だ。高度医療も年々高くなっており、いざという時の国保と認識してほしい。

岡崎英和 委員

過 去4年間で1億6000万円取り崩していたこともある。あと5000万円ほどの積み立てが必要と思うが、町長 安定運営の観点からも、常時基金を積み立てていきたい。

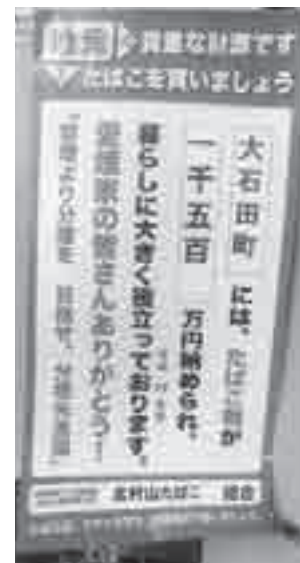


老朽化が目立ってきた集落排水施設（豊田地区）

農業集落排水特別会計 【全員賛成】

国民健康保険特別会計 【全員賛成】

令和に向けて残された課題を解決せよ!



たばこ税は 770 万円の大幅減

一般会計 【全員賛成】

たばこ税

村形昌一議員

スクールバス

村形昌一議員

スクールバス運行業務委託は、新しい体制になったが、新年度もその体制で行くのか。

教育長 事故を起こした業者以外の3社にお願いし、運行していきたい。保護者会の説明で、スクールバスの中と外をつなぐ無線機とかスマホとか情報連絡手段を要望されたが、現在の考えは、教育長 現在のところ考えはない。

地域振興公社

遠藤宏司議員

あ ったまりランドかんの繰入金だが、何年も入らないのに予算化するのには予算書自体おかしいのではないか。

副町長 がんばって町に資本費相当分を納められる経営をしたいという願望も含めて、毎年計上していたが、来年度は計上していない。

プレミアム商品券

小玉 勇議員

全 国で使えなければおかしいのではないか。

保健福祉課長 消費税が上がることで低所得者に支障が出る観点と、地方の消費が落ち込むことを改善するための措置だ。目的から使えるのは町内という決まりだ。

虹のプラザ

岡崎英和議員

虹 のプラザの1階と2階のフロアにテーブルと椅子5セットが置いてある。町民が自由に学習している、貴重なスペース。もっとセットを増やすべきでは。

町長 考えていかなければならないと思っている。

道路用地

関 幸悦議員

道 路の改修は、用地を買収して整備すべきではないか。

町長 生活にかかわる道路用地は無償提供が慣例。これからそのような形で進めていく。



「足りないよ～！もっと増やしてえ～」(虹のプラザ)

就学支援金

遠藤宏司議員

要 ・ 準要保護生徒就学支援金は、入学前に支給すべきではないか。町長 なるべく早く渡せるようにしていきたい。

作付面積

小玉 勇議員

農 地の集積を進め特裁米の奨励をしながら、減ったのは、政策自体がおかしいことではないか。

産業振興課長 その年の天候や秋耕、クワの除草の影響もある。特裁米には新規3000円、継続15000円の助成があり、町や農協も特裁米の栽培の拡大を奨励している。

農業集落排水事業 特別会計【全員賛成】

遠藤宏司議員

鷹 巣地区の流雪溝工事が支障物の除去で遅れている。期限内で終わるのか。

町長 期限内で終わるよう県と話し合いをしていきたい。

特別職の給与条例改正 【全員賛成】

大山二郎議員

部 活動指導員は、コーチとの兼任なのか。また任命は教育長権限でやるのか。

教育長 コーチングではなく、管理や指導の補佐をしていた。人選は教育委員会が委嘱する。



いざという時、水漏れは大丈夫？

消防のホースの漏水

遠藤宏司議員

出 初式で一齐放水したが、ホースの漏水がひどすぎる。改善すべきと思うが。

町長 日頃の点検をきちんとするよう指示しなければならぬと思った。



首都圏でも大人気！大石田米



子ども食堂とはなんだ

小玉 勇 議員

子どもの居場所作りと考える

町 長



子ども食堂設立への一歩

子どもの貧困
子どもへの虐待が報じられている。貧困も原因の一つと思うが町ではどう認識しているのか。
町長 昨年、県が実施した「生活実態調査」での判断では、子どもの貧困率は16%で全国平均よりも2%ほど高い数字になっている。しかし町は、所得の多少にかかわらず子どもたちの日常生活の維持や教育に支障がある世帯にはこれまで同様、できる限り支援していく。教育長 20年後、30年後、成人なった時に貧困の連鎖を断ち切ることができ

子ども食堂
「子ども食堂(※)」を実施していきたいとの話を聞いているが、町の支援はあるのか。
町長 「子ども食堂」とは、一つの子供の居場所づくりであると考えている。県では運営団体に対し助成する制度も始まっている。



みんなで食べる食事は、こころも安らぐ

ないに関係なく約半数の家庭で参加させたいとの回答であった。その理由としては、様々な人達との交流を通じ人間的にも成長してもらいたいと考えており、またその中で宿題をするなどの学習支援にもつながり、大学生たちによる学習ボランティアの輪につながればと期待している。

※「子ども食堂」

一人で食事したり、家庭の事情で食べられなかったりする子どもに、地域の大人が無料または低額で食事を提供する取り組み。
貧困家庭の子どもへの支援に限らず地域の交流の場としての役割を担っていることも多い。

町の考えを問う

7人の議員が一般質問

小玉 勇 議員

- ◆子どもの貧困を町ではどのように考えているか
- ◆町道とされていない生活道路や小路も町で除雪すべき

11 ページ

村形 昌一 議員

- ◆町内商工業の振興を図れ
- ◆地元企業への受注機会確保と優先発注を
- ◆起業する者を育成し、町へ活力を

12 ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆町民の命を大切に市政を
- ◆国民健康保険税の負担軽減について

13 ページ

関 幸悦 議員

- ◆流雪溝整備について
- ◆福祉バスの見直しについて

14 ページ

星川 久 議員

- ◆地震災害時の対策は

15 ページ

齋藤 公一 議員

- ◆最上川の舟運文化を町内外に発信すべきだ

16 ページ

大山 二郎 議員

- ◆幼児教育無償化の対応は
- ◆インフルエンザ予防注射について
- ◆消防分署建設における周辺道路整備について

17 ページ

一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質することをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では7議員が一般質問を行いました。





高い国保税の負担軽減を

遠藤 宏司 議員

応能・応益の原則（※）から困難

町 長

町民負担を軽く
国保税の過重な負担は全国で問題になってきている。一人当たり1万円の引き下げを検討する考えはないか。
町長 国保税を一人当たりという単位で減額することは、応能・応益の原則から困難だ。国保税の均等割りを廃止する考えはないか。
町長 法令上できないのでご理解願いたい。



健康第一！日頃の体力づくりは大事

国保基金が1億8千万円になる。2千万円から4千万円で、大幅な引き下げが可能だが。
町長 2億円を超え、安定的な運営が可能と判断された場合は、見直しもあり得ると考える。
町民の命を大切に
スクールバス事故の教訓を活かし再発防止対策を検討したか。
町長 初期対応に改善、解決すべき点があったの



安全運転をお願いします。

で、事故発生時における町（教育委員会）と運行業者の役割分担や責任の所在を明確にし、迅速で適切な初期対応を図るため、「スクールバス交通事故対応マニュアル」を策定し、施行している。災害や事件・事故が起きた時、町三役は瞬時に情報を共有し、的確な対応方針を出す体制を検討したか。
町長 瞬時に情報共有のことだが、危機管理所管の総務課長から町長・副町長へ、教育文化課長

※ 応能原則とは、納税義務者の経済的能力に相応した課税がなされるべきであるとするもの。
応益原則とは、国や地方自治体の提供する行政サービスの受益の大きさに応じて負担をすべきであるという考え方。

から教育長へ、課長同士の個別の連絡体制をつくられている。救護・救命については警察や消防にゆだねる部分もあるが、関係機関と情報を共有しながら適切な対応を行っていく。



いつも大盛況（最上川千本だんご）

商工業の振興を
現状をどう見ているか。
町長 商業は購買力の流出と後継者確保が困難な状況が続く、工業は人手不足が顕著化している。振興策をどう図るか。
町長 商工会と連携し、必要により各種融資制度の周知と活用を促す。商工会長経験者の町長として期待も大きいのが負担に感じられているか。
町長 他の自治体と比べれば、そぼもだんごもあり、交流人口で活気があると思う。商工費の予算規模は県内ワースト2位だが。

町長 予算の要求はプレミアム商品券しかない。金融機関との連携は。
町長 低金利なので金融機関は貸し出しに積極的だ。観光で斎藤茂吉の逆白波を見られるつり橋を作ったかどうかの声がある。町長 難しいと思う。
町内で金をまわせ
地元企業への受注機会確保と優先発注はどうか。
町長 発注行為は、町内事業者を第一と考えている。実際のところ指名や落札にならないがなぜか。
町長 対象事業の内容や資格の有無、工期への対応



商店街に活気を取り戻せ！

能力、これまでの実績等を踏まえ「指名業者選定審査会」を経て選定する。落札額は全体の3分の1というが指名の状況は。
町長 今年度全入札案件の内71%について町内業者が指名されている。町への貢献は考慮されているか。
建設課長 10年ほど前から制度を改革し総合評価し点数化している。JV（特定企業共同体）で町内業者を育成すべき。
町長 こういった仕事をしたという企業体でないという疑問が残る。

起業支援
店舗数が減る中、このままでは地区でジュースすら買えなくなる。支援策を講じ町内外から起業を募る施策が必要ではないか。
町長 起業支援は必要と認識している。支援策はどうなっている。
町長 国や県の助成金等も含め支援策はきめ細やかに用意されているので商工会と一体となり情報提供や指導に当たりたい。



町の活力は商工業から

村形 昌一 議員

地域の活性化にとって重要だ

町 長



地震災害時の対策は

星川 久 議員

防災計画に則り対応している

町 長

町民への啓蒙は。
町長 非常時の避難場所など、細かく記した防災マップなどを全戸に配布し、自助の意識づけをしてきた。
災害時の対策は。
町長 直ちに災害対策本部を組織し、情報の収集や自主防災組織等、消防団を中心として、高齢者や子供達の避難誘導やケガ人の状況等の情報交換を行っている。

町の防災



大石田にも活断層。油断はできない…。(県 HP より)

住民の避難誘導の初動体制は、警察が積極的に行うとの申し入れをいただいている。災害時には、虹のプラザも避難場所として活用できるよう整備している。一般住宅の耐震化対策は、住宅リフォーム支援事業補助金の対象として奨励している。
近隣自治体との支援協定は。
町長 国道347号線沿いの加美町、大崎市、涌谷町と協定を結んでいる。



万一に備え、日ごろの訓練が大事！
(豊田地区)



学校の防災
小中学校の防災体制はどのようになっているか。
教育長 町内小中学校はすべて耐震化されている。警察の講習、試験に合格した災害時の安全管理者を各校に1名ずつ配置している。
各小中学校ではどのような取り組みをしているか。
教育長 防災計画を定め、年2回避難訓練を行っており、特に大石田小学校では、水害を想定した水防訓練等も一定の頻度で行っている。



車がすれ違えない狭い道路(里地区)

流雪溝整備
全町の流雪溝整備を計画しているが、小菅・今宿・駒籠地区の流雪溝整備をどのように進めていくのか。
町長 各地区ごとに、最上川からの取水必要水量とその根拠、取水方法、排水するまでのルート等、新庄河川事務所と協議をしている。
里地区の流雪溝整備は、富並川伊蔵堰土地改良区が管理する田沢大堤や小山ヶ沢の溜池を活用する計画はないのか。
町長 土地改良区に確認したところ、横山、田沢

道路整備
冬期間里地区は、道路が狭く緊急車両の通行に支障をきたしている。道路整備を優先する考えは。
町長 現場を見ながら道路整備についても考えていきたい。
副町長 これまで計画は何度もあったが用地協力が得られず断念してきた経緯がある。



冬は停留所まで来るのも大変



流雪溝の全町整備早急に進めよ

関係機関と協議している

関係機関と協議している

町 長

冬期間の福祉バス見直し
福祉バスは高齢者の足となり、通院・買い物・あったまりランド等に利用されている。高齢者の安全を確保するため、冬期間の運用見直しの考えはないか。

町長 狭い道路での運行や、停留所の位置設定については限界がある。各区長からの要望を受け可能な限り応えていきたい。
予約型のデマンドタクシーの考えはないか。
町長 財政事情により、これまで同様スクールバスの対応でお願いしたい。



保育料と合わせ給食費も無償に

大山 二郎 議員

無償にしていけるよう考える

町 長

子育て支援

10月から保育料が3歳児から5歳児まで無償になる。来年3月までは国が負担するが、4月から町の対応は。

町長 無償化に伴い、国は今年10月から半年分は全額負担するとしているが、来年4月からは財源の確保が問題になる。ただし、国の算定の仕組みが変更になり、国庫の補助金が保育料として保護者が納付する金額以上に



子どもたちの笑顔は町の宝物

なるため、特別な財政措置は必要がない。

国は、給食費は別としており、給食は保育の一環であり、町として子育て支援の観点からも無償にすべき。

町長 保育が無償化と引き換えに、新たに食料費を徴収することは、保育料無償化の本質に逆行することになるので、慎重に検討を進める。私としては、財政とも相談し、給食費も無償にしていけるよう考えるが、他自治



かかるよりも予防接種の方が経費は安い

インフルエンザ予防

予防接種の助成内容は。

町長 対象を6ヶ月児から中学3年生までの児童生徒で、1回につき2千円を助成。小学生以下の児童については2回分を予算措置している。どうすれば助成を受けられるのか。

保健福祉課長 予防接種を受けた医療機関で、2千円を引いた差額の料金を支払って頂くことになる。

新分署周辺道路

冬期間、緊急車両が通るには道路事情が悪く整備が必要では。

町長 通学路整備が優先で、街路整備事業の補助がなく難しい。昭平橋までの通りも、冬期間の道路事情が悪い。通学路でもあり改修が必要だ。

町長 拡幅を伴う道路整備は多額の事業費を要するので難しい。散水消雪点検業務の結果を踏まえ今後の対策等を検討する。



舟運文化をもつと発信すべき

齋藤 公一 議員

既存公園施設の有効活用が優先

町 長



役場内にもツーリスト

親水施設整備

長井市では国の事業である「かわまちづくり支援制度」に取り組み歴史文化景観を内外に発信し誘客に努力している。

町長 当町は、平成11年から平成15年まで「かわまちづくり事業」として修景護岸や遊歩道整備等を行っており、それらを活かすことが優先だと考えている。

当町出身者が基点で舟下り事業を始めると聞いたが、コースを大石田まで伸ばしてもらおうなどできないか。

町長 初めて聞いたが、

コース延長には国交省との協議等々があると思われるが現時点では答えられない。

大石田町には、町内外に誇れる広い公園がない。特殊堤や遊歩道を公園として活かす考えはないか。

町長 下河原グラウンド等もよく利用されているが、洪水時の事を考えると難しい。

新幹線の停車する駅から最上川まで一番近いのが大石田町。寺院や温泉施設も川に近い。支援制度の活用を検討できないか。



最上川の舟運文化を活かせる施設を

あるため非常に難しい。大石田は舟運文化で名をはせている。それを活かせる町の努力が必要では。

町長 夢物語にならないよう、これからの町の観光面を考えていく。パークゴルフ場を作れないか。

町長 再整備の観点からパークゴルフ等も視野に入れて考えていきたい。

住民とともに歩む議会を目指して

議会報告会 地域住民との意見交換会



議会について報告する議長



4月10日（水）横山総合センター



4月12日（金）虹のプラザ



4月11日（木）白鷺公民館

9回目となる「議会報告会・地域住民との意見交換会」を4月10日から12日まで町内3カ所を会場に開催しました。
議会の活動状況や新年度予算の内容を村岡議長が報告。その後、地域住民との意見交換を行いました。
詳細は、議会だより号外にて後日お知らせします。

主な質問内容

大石田地区（虹のプラザ）

- ・国保税の減額は可能か。
- ・小学校統合はどうなっている。
- ・県、町の公営アパートの老朽化、少子化対策。
- ・防災無線が聞こえない。
- ・災害時の備蓄状況は。
- ・流雪溝整備について。
- ・LED街灯の修繕への補助は。
- ・駅に観光用の看板を。
- など

横山地区（横山総合センター）

- ・流雪溝の全地区整備。
- ・アメシロ対策。
- ・都市計画税の使い道は。
- ・除排雪経費の削減をしないで。
- ・排雪計画書の配付を。
- ・メガソーラー事業はどうなっている。
- ・空き家対策。
- ・小学校の統合問題。
- ・ふるさと納税をもっとPRして。
- など

亀井田地区（白鷺公民館）

- ・排雪経費節約のためもつと空き地を利用したほうがいい。
- ・危険空き家対策。
- ・西畑地区の道路舗装。
- ・福祉バスの利便性について。
- ・舟戸大橋の照明が点いていない。
- など

◆第1回 臨時会 1月21日

- ・平成30年度大石田町 一般会計補正予算（第7回）
- 除排雪費の補正増 5000万円

◆第2回 臨時会 3月20日

- ・平成30年度大石田町 一般会計補正予算（第9回）
- ・大石田町福祉会館等解体工事 請負契約の一部変更について
- ・大石田町教育長の任命について



自治功労表彰

長年にわたる地方自治振興への貢献が認められ、大山二郎議員、関幸悦議員、小玉勇議員の3名が全国町村議会議長会表彰を受けました。

新教育長の意気込みを伺う！

小学校統合など課題が多い中、本多教育長が就任！



教育長に就任して

本多諭（さとし）さん（庚申町）を大石田町教育長として任命することに全員が同意しました。任期は平成31年4月1日から3年間

私は大石田町が大好きです。そして大石田町の子どもたちが大好きです。町の宝である子どもたちが、地元大石田町を愛し、大石田町で育つことを誇りに思える教育を推進したいと考えています。
少子化の影響もあり、制限されることも多くなってきたはいますが、発想の転換や新たな工夫を加え、一人一人の持つ無限の可能性を引き出し、良さを伸ばし、心に灯をつける教育を進めていく所存です。
町民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、地域と学校双方の発信をもとにして、活力ある笑顔いっぱいの大石田町になるよう全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いたします。

里地区流雪溝設置に関する請願

- 請願者 里区長 阿部弘悦
- 紹介議員 村形昌一
- 請願要旨 現在、里地区には全地区網羅した流雪溝がなく、冬期間は生活道路の確保や緊急車両の通行に支障をきたしている。地区民が安心して生活できるよう流雪溝設置を早期にすすめてください。



ライドシェア(※)の導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める意見書提出を求める請願

- 請願者 一般社団法人山形県ハイヤー協会 会長 石川康夫
全国自動車交通労働組合連合会 山形地方本部 執行委員長 遠藤栄二
- 紹介議員 関幸悦
- 請願要旨 ライドシェアは、利用者の安全・安心に極めて大きな懸念のある業態のため、その容認は行わず地域において大きな役割を担っているタクシーはもとより、バスや鉄道を含めた地域公共交通維持・発展に向けた総合的な諸施策を講ずるよう意見書を提出してください。 ⇒ 国に意見書を提出



※ライドシェア 自動車を相乗りすること。他者とガソリン代等を負担し合うことで交通費を節約できる。日本の法律では、自家用車が有料で客を乗せることは禁止されている。

職人の町の名匠

第4回目（大工）

豊田地区 齋 藤 吉 雄 さん



・昭和6年9月16日生まれ（87歳）
・家族構成 5人家族
齋 藤 建 築
大石田町大字豊田614番地
TEL 0237-35-3607
平成12年度大石田町卓越技能者顕彰

きっかけ

昭和20年、終戦時に尋常小学校高等科を卒業し、駅前の桐井要次郎さんに食糧難のため米2俵持参で無理やり弟子入り。5年間の修行と1年間の奉公を経て一人前に。25歳の時に婿養子に入り建築業を始めた。親子三代を目標して今は息子が継いでいる。

初仕事

南陽市宮内に寝泊りし木材を刻み東京へ送り出し、隅田川近くの東駒形で革ジャン製造している人の家を建てた。見渡す限

北海道の思い出

り焼け野原で遠くまで見えたのを思い出す。

弟子入りして3〜4年後

師匠達と北海道庁の仕事をした。合掌造りの建物を任されたが札幌の冬はとて厳しく指が凍傷になり入院した。真駒内では進駐軍の宿舎を建設。

日高の開拓村ではアイヌの人達に酒を飲ませて仕事を手伝ってもらったりと、今思えば苦労は多かったが非常に懐かしい。

今の職人について

今は、弟子入りするようなことはせず訓練校等で習うことが多い。ハウスメーカーでは材料を組み立てるだけになり、きちんと大工の仕事を覚えなくても出来てしまう。心配な事だ。

町へひとこと

新庄まつり、青森のねぶた、秋田県の紙風船上げなど各地では世界遺産となるようなまつりがある。大石田は少し盛り上

がりが足りないようだ。活性化のために努力してもらいたい。

手がけた自慢の建物

平成5年に尾花沢市行沢地区のログハウス、平成26年に川前地区の八坂神社、井荻良治さん宅など。

議員からひとこと

インタビュをしてみて、朴訥ながらも厳しい職人（かんぎ）が表情に現れており、これまでの多くの経験が、そのしわに刻まれているようにであった。（記 小玉）



自慢の作品「八坂神社」（川前）

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は

6月3日（月）～6月7日（金）の予定です。

お気軽においでください。（議場は役場3階です）

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
電話 35-2111（内線312）FAX35-2118

表紙の写真

大石田町立大石田南小学校の入学式です。晴れやかな日差しの中、13人の新入生を迎えました。上級生のあたたかい拍手の中、恥ずかしそうに入場です。これから楽しい学校生活を送ってください。

編集後記

永楽の古き寺領（じりょう）を戴（いた）きて
永和三年（一二三七年）開創された黒龍山向川寺（黒滝地区）について元禄二年（一六八九年）に大石田を訪れた松尾芭蕉が詠んだ句だ。

さみだれをあつめて

全国的には「あつめてはやし」だが、大石田では「すゞし」と詠んでいる。町の誇れる歴史と文化である。町民としては「すゞし」を広げるべきと思う。かつて三百を超える舟が往来し栄えた町も、今では人口減少が進み、町の存続が危ぶまれる時代となった。残すものと改革するもの、多様なものがあつていいのではないか。町の活性化は誰もが望むところだ。前途は多難だが我々議会も頑張る。（記 遠藤）

広報常任委員会

委員長	村形 昌一
副委員長	岡崎 英和
委員	小玉 勇
委員	遠藤 宏司
委員	芳賀 清